



全タク連発第 64 号
令和 2 年 6 月 8 日

厚生労働大臣
加藤 勝 信 様

(一社)全国ハイヤー・タクシー
会長 川 鍋



地域別最低賃金額の改定について (要望)

平素はタクシー乗務員の労働条件の改善にご配意を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度の新型コロナウイルスによる影響は、ハイヤー・タクシー事業におきましても極めて深刻であり、特に観光客の激減、各種イベント等の中止、テレワークの推進、外出の自粛要請などにより、タクシーによる輸送人員、営業収入が激減するという甚大な影響を受けております。別添のとおり、5月1日から15日までのサンプル調査では昨年同期比で全国平均約3分の2の減少、最大約8割以上の減少となっています。

特に多くの事業者において、歩合給という賃金制度を取っていることから営業収入の激減は、直接最低賃金割れを引き起こして、不足分を事業者が全額負担せねばならない状況であり、地域公共交通機関であるタクシー事業経営の基盤をゆるがしかねない惨憺たる結果を招いております。

事態の収束が見通せない中で、タクシー事業者はこうした状況の下、雇用調整助成金を最大限活用しながら運転者の雇用を継続しつつ、一方で国民の安定的な生活の確保・社会の安定の維持の観点から、国からの事業継続要請を受けて日夜必死に努力を続けております。

つきましては、貴職におかれましてはタクシー業界の現状にご理解を賜り、今年度の地域別最低賃金額改定を見送るか、あるいは、猶予措置を設けて頂くなどの措置を講じて頂きますように、強く要望いたしますので、何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。